

[VI] 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

刊行書籍又は雑誌名(雑誌のときは雑誌名、巻号数、論文名)	刊行年月日	刊行書店名	執筆者氏名
Parkinson病に対する修正電気痙攣療法 (mECT)の適応について. JRYO 53(11): 703-707	1999		渡辺崇, 塚田和美, 湯浅龍彦, 西宮仁, 吉野英
電気刺激による脳内代謝の変化-13C-MRスペクトロスコピー法(13C-MRS)による研究-. 神経内科51(5): 405-412	1999		金松知幸, 湯浅龍彦
Parkinson病に対する修正電気痙攣療法 (mECT)の適応について. 医療53(11): 703-707	1999		渡辺崇, 塚田和美, 湯浅龍彦, 西宮仁, 吉野英
進行性核上性麻痺日本臨床 別冊 (神経症候群-その他の神経疾患を含めて-II), 45-48	1999		西宮仁, 湯浅龍彦
修正電気痙攣療法が奏効したせん妄を伴ったパーキンソン病の1例, 精神科治療学: 1129-1133,	1999		渡辺崇, 塚田和美, 湯浅龍彦, 浦田重治郎, 清水順三郎
痴呆, すくみ足, 著明な日内変動, 前頭葉萎縮を示す家族性パーキンソン症候群の1家系. 医療54(1): 21-26	2000		湯浅龍彦, 西宮仁, 吉野英
Parkinson病の治療-新世紀への道標-. 日本臨床 58 (10) 別冊	2000.10.		湯浅龍彦
Parkinson病の新規外科治療の展望. 医学のあゆみ別刷. 2001.196 (10)	2001		湯浅龍彦
Neurol. Res. 21: 175-179. Differential regulation of AP-1 DNA-binding activity by dopamine receptor antagonists in the rat caudate-putamen and globus pallidus following a unilateral 6-OHDA lesion of the medial forebrain bundle	1999		K Kashihara, K Akiyama, T Ishihara, Y Manabe, and K Abe
Int. Med. 38: 223. Molecular basis of "de novo" DRPLA.	1999		K. Abe
J. Cereb. Blood Flow Metabol. 20: 1393-1408. Therapeutic potential of neurotrophic factors and neural stem cells against ischemic brain injury.	2000		K. Abe
Neurosci. Res. 38: 273-279. Effects of repeated methyl levodopa administration on apomorphine sensitivity of rotational behavior and striatal Fos expression of rats with unilateral 6-OHDA lesions.	2000		K. Kashihara, Y. Manabe, Y. Shiro, H. Warita, and K. Abe
機能的脳神経外科38 No.1 後腹側淡蒼球凝固術の高次大脳機能への影響	1999.12.14	マイライフ社	安藤肇史
機能的脳神経外科39 No.2 発声機能から見た淡蒼球手術の問題点	2000.12.28	マイライフ社	安藤肇史
患者と医師のためのパーキンソン病治療 —患者・家族への説明— ミクス 29-34pp	1998		横地房子
パーキンソン病の治療 定位脳手術・脳深部刺激療法の適応、利点そして限界 診断と治療 87 665-672	1999		高橋宏, 谷口真, 横地房子, 沖山亮一, 浜田生馬, 長谷川有美

定位脳手術における淡蒼球・視床下核のMRI-based localization. 機能的脳神経外科 38(1): 52-53	1999		沖山亮一、横地房子、平井俊策、谷口真、高橋宏、浜田生馬、長谷川有美
パーキンソン病に対する定位脳手術と刺激治療 内科 83(3)、497-499	1999		横地房子
定位的脳手術 定位視床破壊術と脳深部刺激を中心に Prog. Med. 19(6)、1477-1480	1999		横地房子
定位脳手術療法 カレントセラピー 17(7)、100-105	1999		横地房子
パーキンソン病の外科治療 MEDICO vol.30 No.7	1999		横地房子
定位脳手術と脳深部刺激療法 総合臨床 48(12)、2761-2764	1999		横地房子
パーキンソン病に対する定位淡蒼球破壊術 - 標的部位と臨床効果の関連について - 機能的脳神経外科 38、26-27	1999		横地房子、沖山亮一、谷口真、高橋宏、長谷川直美、浜田生馬
定位淡蒼球破壊手術時の我々の視索同定法、機能的脳神経外科 38、40-41	1999		谷口真、高橋宏、沖山亮一、横地房子、長谷川有美、浜田生馬
パーキンソン病に対する脳深部刺激療法 - すぐみ歩行に対する視床下核刺激の効果 -、機能的脳神経外科39:46-47	2000		横地房子、沖山亮一、谷口真、高橋宏、浜田生馬、長谷川有美他
定位脳手術におけるMRIを用いた視床下核の同定法。 機能的脳神経外科 39(2): 114-115	2000		沖山亮一、横地房子、平井俊策、谷口真、高橋宏、浜田生馬、長谷川有美
振戦 神経内科的治療 日本臨床 58(10)、2091-2095	2000		横地房子
知的機能障害. パーキンソン病—診断と治療— 一、柳澤信夫編、pp35-44	2000	金原出版	丸山哲弘
脳の科学22: 1103-1112、基底核疾患と運動学習障害—パーキンソン病における随意運動障害と運動学習障害を中Sに—	2000	星和書店	丸山哲弘
日本老年医学会雑誌37: 777-779、皮質下性痴呆—パーキンソン病を中心として—	2000	日本老年医学会	丸山哲弘
日本臨床58: 2007-2015、認知機能. 特集: Parkinson病治療の進歩	2000	日本臨床社	丸山哲弘
脳神経外科26(8): 静脈麻酔薬Propofolによる定位脳手術	1998		福多真史、亀山茂樹、ほか
KINESIS (Advances in movement disorder) 3(3): パーキンソン病の定位脳手術と高次脳機能	1998		亀山茂樹、福多真史
機能的脳神経外科 37: Motor point刺激による視床誘発電位	1998		福多真史、亀山茂樹、ほか
機能的脳神経外科37: パーキンソン病に対する淡蒼球刺激療法—局所脳血流とサーモグラフィが興味ある所見を呈した1例—	1998		山下慎也、福多真史、亀山茂樹、ほか
Neurosurgery 44(6): Stereotaxy for hypothalamic hamartoma with intractable gelastic seizures: Technical case report	1999		Fukuda M, Kameyama S, et al
Muscle and Nerve 23(2) : Thalamic potentials evoked by motor point stimulation	2000		Fukuda M, Kameyama S, Tanaka R
Stereotact Funct Neurosurg 74: Neuropsychological outcome following pallidotomy and thalamotomy for Parkinson's disease:	2000		Fukuda M, Kameyama S, et al
日本臨床58 (10) Parkinson病の治療: 振戦—脳神経外科的治療	2000	日本臨床社	亀山茂樹

臨床神経学 40 : 329-333 パーキンソン病 114 例から検討したDiffuse Lewy body disease	2000		神 一敬、佐藤信行、久永欣 哉、鈴木博義、望月 廣
Neurosci Lett 270:45-48,Brain-derived growth factor and nerve growth factor concentrations are decreased in the substantia nigra in Parkinson's disease	1999		Mogi M, Togari A, Kondo T, Mizuno Y, Komure O, Kuno S, Ichinose H, Nagatsu T
実験医学 17:66-71,パーキンソン 病研究の最前線	1999		北田 徹, 松峯宏人, 服部信 孝, 小林智則, 近藤智善, 水 野美邦
日病薬誌35:347-353,塩酸セレギリン	1999		近藤智善
新しい治療薬のポイント10 : 11-13,塩酸セレギ リン	1999		近藤智善
新しい治療薬のポイント10 : 24-25,エフピー錠 2.5	1999		近藤智善
臨床医 25:825-830,意識障害	1999		杉田之宏、近藤智善
カレントセラピー 17:1207- 1212,パーキンソン病の治療方針	1999		近藤智善, 杉田之宏
Medical ASAHI 28:26-29,パーキンソン病治療 薬塩酸セレギリンの可能性	1999		近藤智善
Progress in Medicine 19:101- 104,Wearing- off現象, dyskinesiaへの対応ドーパミン受容 体作動薬の役割に関する一つの見解-	1999		近藤智善
総合臨床 48:2776-2780, すくみ足と姿勢反射障 害	1999		近藤智善
Brain and Nerve 51 (4):305-312,線条体黒質変 性症とオリブ橋小脳萎縮症:多系統萎縮症の クリニカルエンティティーに関する考察	1999		三輪英人, 近藤智善, 水野美 邦
Parkinson 病・parkinsonism. 外来診療のすべ て(改訂第2版)高久史麿 総監修, 溝口秀昭, 矢崎義雄, 狩野庄吾, 武藤徹一郎 監修	1999	Medical View 社	近藤智善
I. 脳の解剖・生理. ひとりで学べるナーシング プロセス, 成人・老年看護②, メヂカルフレ ンド社編集部編, pp 302-305	1999	メヂカルフレンド社	杉田之宏, 近藤智善
II. パーキンソン病の病態生理, 診断・治療. ひ とりで学べるナーシングプロセス, 成人・老年 看護②, メヂカルフレンド社編集部編,	1999	メヂカルフレンド社	杉田之宏, 近藤智善
MPTP性パーキンソン症候群. 神経症候群II, pp37-40	1999	日本臨床社	近藤智善
マンガン中毒によるパーキンソン症候群. 神経 症候群II, pp 41-44	1999	日本臨床社	近藤智善
Parkinsonism and related disorders 6:129- 131,Exonic deletion of the Parkin gene among sporadic patients with Parkinson's disease	2000		Kobayashi T, Mang M, Hattori N, Matsumine H, Kondo T, Mizuno Y
Neural Transm. 107(3):335-341,Caspase activities and tumor necrosis factor receptor R1 (p55)level are elevated in the substantia nigra from parkinsonian brain	2000		Mogi M; Togari A; Kondo T; Mizuno Y; Komure O; Kuno S; Ichinose H; Nagatsu T
Parkinsonism and Related Disorders 7:71- 77,Treatment of Parkinson's disease in Japan	2000		Kondo T

臨床成人病 30:38-44,パーキンソン病	2000		近藤智善, 紀平為子
薬の知識 51(3):10-14,パーキンソン病の薬物療法の進歩と外科療法の位置づけ	2000		広西昌也, 近藤智善
日本内科学会雑誌 89:629-633,振戦	2000		近藤智善, 広西昌也
神経研究の進歩44:639-651,パーキンソン病治療のアルゴリズムー治療導入期と運動合併症を中心にー	2000		近藤智善, 広西昌也
和歌山県内科医会誌14:7-11,パーキンソン病の内科的治療ーとくに治療導入期の考え方ー	2000		近藤智善
日本臨床10:99-104,初期治療	2000		近藤智善
神経内科53 (Suppl 2):234-235,水脊髄症のMRI	2000		南 佳宏, 広西昌也, 近藤智善
BIO Clinica 15:28-32,パーキンソン病治療の現状	2000		広西昌也, 近藤智善
難病と在宅ケア6: 78-81,常パーキンソン病と若年性パーキンソニズムの病態生化学	2000		紀平為子, 近藤智善
老年医学雑誌11:1298-1306,パーキンソン病の治療	2000		近藤智善
内科86:1101-1110,神経疾患ー変性疾患を中心に。	2000		近藤智善, 吉田宗平, 紀平為子, 河本純子 広西昌也
Q32 病初期からL-DOPA製剤を使ってもよいか? また抗パーキンソン病薬の重症度による使い分けは? パーキンソン病Q & A, 平井俊策 編 pp84-86	2000	医薬ジャーナル社	近藤智善
Q33 ドパミン受容体作動薬はどの時期から使うべきか? また各製剤の使いわけは? パーキンソン病Q & A, 平井俊策 編, pp87-89	2000	医薬ジャーナル社	近藤智善
パーキンソン病の薬物療法. 神経難病のupdate, pp12-17	2000	協和企画	近藤智善
変性疾患. 標準神経病学, 水野美邦, 栗原照幸 編, pp231-263	2000	医学書院	近藤智善
薬物治療のコツー1. MAO-B阻害薬とその使い方. パーキンソン病ー診断と治療ー, 柳澤信夫 編, pp172-179	2000	金原出版	近藤智善
生体の科学 50巻5号 (パーキンソン病ー病気の分子細胞生物学)	1999.5.	医学書院	松田博史
Journal of Nuclear Medicine 40巻10号 (SPECT image analysis in patients with Parkinson's disease using statistical parametric mapping)	1999.10.		Imon Y, Matsuda H, Ogawa M, Kogure D, Sunohara N
日本臨床 58巻10号 (Parkinson病治療の進歩, Parkinson病の病態, 画像診断)	2000.10.	日本臨床社	松田博史
Microelectrode-guided pallidotomy: technical approach and its application in medically intractable Parkinson's disease.88: 1027-1043, 1998	1998	J Neurosurg .	Vitek JL, Bakay AE, Hashimoto T, Kaneoke Y, Meves K, Zhang JY, Rye D, Starr P, Baron M, Turner R, DeLong MR
Neural activity in the basal ganglia in patients with generalized dystonia and hemiballism.46: 22-35	1999	Ann Neurol,	Vitek JL, Chockkan V, Zhang J-Y, Kaneoke Y, Evatt M, DeLong MR, Triche S, Mewes K, Hashimoto T, Bakay AE.

Neuronal activity in the globus pallidus in primary dystonia and off-period dystonia, 247 (Suppl.5): 49-52,	2000.10.	J Neurol	Hashimoto T.
Abnormal activity in the globus pallidus in off-period dystonia 49: 242-245,	2001	Ann Neurol	Hashimoto T, Tada T, Nakazato F, Maruyama T, Katal S, Izumi Y, Yamada Y, Ikeda S:
バルプロ酸によりrigidity が軽快した末期パーキンソニズム患者3例. 臨床神経38 : 495-497	1998		佐山節子、藤本健一、中野今治
習慣性顎関節脱臼を併発したパーキンソニズム病の2例. 臨床神経39 : 849-851	1999		佐山節子、藤本健一、静間奈美、中野今治
Diltiazemにより急性パーキンソニズムを呈した1症例. 神経治療17 : 57-60	2000.10.		川上忠孝、池口邦彦、田中康文、西澤正豊、中野今治
パーキンソニズムを伴い17番染色体に連鎖する前頭・側頭葉型痴呆. 日本臨床27(別冊): 20-23	1999		中野今治
解離性大動脈瘤と対麻痺. 日本パラプレジア医学会雑誌. 12 : 84-85	1999		横山照夫、楠淳一、加藤知也、長谷川一子
Taltirelin hydrate(TA-0910)の脊髓小脳変性症に対する臨床試験—異常眼球運動および副腎皮質に及ぼす影響—. 神経治療学17 : 137-145	2000		辻俊一、長谷川一子、三富哲郎、古和久幸
argatroban投与により麻痺の改善を認めた脊髓梗塞例. 日本パラプレジア医学界雑誌13 : 118-119	2000		横山照夫、楠淳一、長谷川一子
The phenomenon of nocturnal dystonia in Parkinson's disease. Eur Neurol 8:(suppl 1) 1-5	2001		K. Hasegawa, F. Sakai, H. Kowa
A nalysis of α -synuclein, parkin, tau, and UCH-L1 In a Japanese family of autosomal dominant parkinsonism. Eur Neurol In press.			K.Hasegawa, M Funnayama, N Matsuura, F Sakai, H Kowa, F Obata
hytrotropin releasing hormone (TRH). Clinical Neuroscience 17:92	1999		長谷川一子
パーキンソン病の臨床徴候・診断基準. カレントセラピー17 : 1165-1170	1999		長谷川一子
パーキンソン病研究の最前線. 「序」 Progress In Medicine. 19 : 13-14	1999		長谷川一子
家族性パーキンソニズム—優性遺伝様式をとるパーキンソニズムを中心に. Progress in Medicine. 19 : 66-71	1999		長谷川一子
進行性淡蒼球変性症 (Hallervorden-Spatz病 : adult type of neuroaxonal dystrophy) . 別冊 日本臨床 領域別症候群シリーズNo27,74-77	1999		長谷川一子
淡蒼球黒質ルイ体萎縮症. 別冊 日本臨床 領域別症候群シリーズNo27,78-81	1999		長谷川一子
パーキンソン病の診断と治療の進め方. MEDICO 30 : 25-36	1999		長谷川一子
パーキンソン病の治療方針. 特集-治療トピックス100 治療81 : 33-39	1999		長谷川一子
抗パーキンソン薬 カベルゴリン. カレントセラピー17 : 152-154	1999		長谷川一子

L-DOPA長期使用の問題点と対策. 155-164. パーキンソン病—診断と治療—柳澤信夫編. 金 原出版	2000		長谷川一子
パーキンソン病の診断と鑑別. 葉の知識51: 362-65	2000		長谷川一子
視床手. Clinical Neuroscience 18:69	2000		長谷川一子
パーキンソン病治療における総合的アプロ チ. medical tribune 33:no30 28-29	2000		長谷川一子
パーキンソン病長期治療の問題点と対策〜ドパ ミンアゴニストの役割〜症例報告 難治性パー キンソン病患者の治療. 夜間の諸問題への対 応. Gerontology 13:78-83	2000		長谷川一子
レドopa長期投与における問題点をどう克服 するか. 日経メディカル2000年3月号58-59	2000		長谷川一子
家族がパーキンソン病と診断されたら. マック ス15:1-8	2000		長谷川一子
Morquio病における頸椎病変. 神経内科53 (suppl 2):472-473	2000		長谷川一子
Parkinson病の重症度を図る日本語版unified Parkinson's disease rating scale (UPDRS)の 信頼性評価. 神経治療17:577-591	2000		折笠秀樹, 久野貞子, 長谷川 一子, 水野義邦
脳の伝達物質とその働き, 病態生理. brain nursing17:193-199	2001		長谷川一子
臨床成人病 28(2): 149-153, 1998. パーキンソン病の外科治療	1998	東京医学社	島 史雄, 福井仁士
Medical Practice 15(5): 767-770, 1998 定位脳手術でよくなる病態	1998	文光堂	島 史雄
神経内科 48(6): 514-519, 1998. 特集 Parkinson病の外科的治療 進行例に対 する包括的外科治療	1998	科学評論社	島 史雄
医学の歩み 186(1): 111-115, 1998. 定位的淡蒼球手術	1998	医歯薬出版	島 史雄
Pharma Medica 16(8): 147-159, 1998. 第39回日本神経学会総会 サテライトシンポジ ウム パーキンソン病治療の最前線 講演1「外 科治療の側面から」	1998	メディカルビュー社	葛原茂樹, 島 史雄, 水野美 邦
Pharma Medica 16(10): 81-85, 1998. パーキンソン病外科治療の適応	1998	メディカルビュー社	島 史雄
Progress in Medica 18(6): 349-353. 1998. パーキンソン病のすくみ足歩行に対する淡蒼球 電気刺激療法	1998	ライフサイエンス・メ ディカ	島 史雄
神経研究の進歩 42(6): 939-944, 1998. 重症パーキンソン病に対する包括的外科治療	1998	医学書院	島 史雄
KINESIS 3(3): 12-14, 1998. パーキンソン病の定位脳手術—overview—	1998	日本イーライリリー	島 史雄
臨床脳波 41(3): 155-158, 1999. 不随意運動に対する脳深部刺激療法の特徴と限 界	1999	永井書店	島 史雄

Progress in Medica 19(3): 213-216, 1999. 第6回カテコールアミンと神経疾患研究会 無動 の神経機構-深部脳電気刺激療法の経験から	1999	ライフサイエンス・メ ディカ	島 史雄
医学の歩み 189(10): 791-794, 1999. Parkinson病に対する淡蒼球・視床下核手術	1999	医歯薬出版	島 史雄
診断と治療 88(10): 1926-1930, 2000. パーキンソン病の治療-脳深部電気刺激療法 (DBS)を中心に-	2000	診断と治療社	島 史雄
Experimental Brain Research 120: 114-128 Corticostriatal projections from the somatic motor areas of the frontal cortex in the macaque monkey: segregation versus overlap of input zones from the primary motor cortex, the supplementary motor area, and the premotor cortex. 1998	1998	Springer-Verlag	Takada M, Tokuno H, Nambu A, Inase M
Brain Research 791: 335-340 Corticostriatal input zones from the supplementary motor area overlap those from the contra- rather than ipsilateral primary motor cortex. 1998	1998	Elsevier	Takada M, Tokuno H, Nambu A, Inase M
Neuroscience Research 31: 251-255 A modified microsyringe for extracellular recording of neuronal activity. 1998	1998	Elsevier	Tokuno H, Ikeuchi Y, Nambu A, Akazawa T, Imanishi M, Hamada I, Hasegawa N
医学のあゆみ 186: 9-13 Parkinson病の病態生理. 1998. 7. 4	1998		南部篤
NeuroReport 10: 1467-1472 Monkey globus pallidus external segment neurons projecting to the neostriatum. 1999	1999	Lippincott Williams & Wilkins	Kita H, Tokuno H, Nambu A
Brain Research 833: 191-201 Corticostriatal and corticosubthalamic input zones from the presupplementary motor area in the macaque monkey: comparison with the input zones from the supplementary motor area. 1999	1999	Elsevier	Inase M, Tokuno H, Nambu A, Akazawa T, Takada M
Neuroscience Letters 269: 33-36 Corticostriatal projections from distal and proximal forelimb representations of the monkey primary motor cortex. 1999	1999	Elsevier	Tokuno H, Inase M, Nambu A, Akazawa T, Miyachi S, Takada M
ブレインサイエンスレビュー1999, 177-192. 大脳皮質-視床下核-淡蒼球投射の機能的意義. 1999. 3. 15.	1999	医学書院	南部 篤

Cerebral Cortex 10: 58-68 Organization of nonprimary motor cortical inputs on pyramidal and nonpyramidal tract neurons of primary motor cortex: an electrophysiological study in the macaque monkey. 2000	2000	Oxford University Press	Tokuno H, Nambu A
Brain Research 854: 220-223 Direct projections from the magnocellular division of the basal nucleus of the amygdala to the principal part of the cortical masticatory area in the macaque monkey. 2000	2000	Elsevier	Hatanaka N, Tokuno H, Nambu A, Takada M
Neuroscience Letters 282: 125-128 A cortical motor region that represents the cutaneous back muscles in the macaque monkey. 2000	2000	Elsevier	Akazawa T, Tokuno H, Nambu A, Hamada I, Ito Y, Ikeuchi Y, Imanishi M, Hasegawa N, Hatanaka N, Takada M
Neuroscience Research 36: 335-338 B-mode and color Doppler ultrasound imaging for localization of microelectrode in monkey brain. 2000	2000		Tokuno H, Hatanaka N, Takada M, Nambu A
Neuroscience 98: 97-110 Organization of somatic motor inputs from the frontal lobe to the pedunculopontine tegmental nucleus in the macaque monkey. 2000	2000	Pergamon	Matsumura M, Nambu A, Yamaji Y, Watanabe K, Imai H, Imase M, Tokuno H, Takada M
European Journal of Neuroscience 12: 1771-1780 Protection against dopaminergic nigrostriatal cell death by excitatory input ablation. 2000	2000	European Neuroscience Association	Takada M, Matsumura M, Kojima J, Yamaji Y, Inase M, Tokuno H, Nambu A, Imai H
Journal of Neurophysiology 84: 289-300 Excitatory cortical inputs to pallidal neurons via the subthalamic nucleus in the monkey. 2000	2000	American Physiological Society	Nambu A, Tokuno H, Hamada I, Kita H, Imanishi M, Akazawa T, Ikeuchi Y, Hasegawa N
KINESIS Advance In Movement Neuroscience 5: 14-17 大脳基底核の機能回路網. 2000. 11.	2000	日本イーライリリー	南部篤
The globus pallidus sends axons to the thalamic reticular nucleus neurons projecting to the centromedian nucleus of the thalamus: a light and electron microscope study in the cat Brain Res Bull, 45 (6): 623-30. 1998	1998		T. Kayahara, and K. Nakano

Molecular cloning and characterization of a novel Ste20-related protein kinase enriched in neurons and transporting epithelia Arch Biochem Biophys, 355 (2):233-240, 1998.	1998		H. Ushiro, T. Tsutsumi, K. Suzuki, T. Kayahara, and K. Nakano
サル小脳室頂核からの遠心性投射—デキストランビオチン法を用いた研究— 三重医学 43: 27-34, 1999	1998		栢原哲朗、伊藤智康、東孝俊、堀田哲史、長岡栄司、中野勝磨
Projections of the vestibular nuclei to the thalamus in the rat: A phaseolus vulgaris leucoagglutinin study J Comp Neurol, 407 (3): 318-332. 1999	1999		T. Shiroyama, T. Kayahara, Y. Yasui, J. Nomura and K. Nakano
Afferent connections to the ventral striatum from the medial prefrontal cortex (area 25) and the thalamic nuclei in the macaque monkey Annals New York Academy Sciences 877: 667-670, 1999	1999		K. Nakano, T. Kayahara and T. Chiba
Neural circuits and topographic organization of the basal ganglia and related regions (Review) Brain & Development 22 Suppl 1: 5-16, 2000	2000		K. Nakano
Proline- and alanine-rich Ste20-related kinase associates with F-actin and translocates from the cytosol to cytoskeleton upon cellular stresses J Biological Chemistry, 9157-9162, 2000	2000		T. Tsutsumi, H. Ushiro, T. Kosaka, T. Kayahara and K. Nakano
Morphological evidence for a vestibulo-thalamo-striatal pathway via the parafascicular nucleus in the rat Brain Res., 872: 208-214, 2000	2000		H. Lai, T. Tsumoto, T. Shiroyama, S. Yokota, K. Nakano and Y. Yasui
Neural circuits and functional organization of the striatum J Neurology, 274 Suppl 5:1-15, 2000	2000		K. Nakano, T. Kayahara, T. Tsutsumi and H. Ushiro
「視床-update」 視床の構造 形態の面から Clinical Neuroscience, 18 (8): 18-21, 2000	2000		中野勝磨
大脳基底核の構造と機能 特集 Parkinson病治療の進歩—神経内科と脳神経外科の接点をめぐって— 日本臨牀58(10): 2-6, 2000	2000		中野勝磨
大脳基底核の機能形態学 特集 大脳基底核をめぐって Kinesis 5 (2): 10-13, 2000	2000		中野勝磨
Efferent projections of Infralimbic and prelimbic areas of the medial prefrontal cortex in the Japanese Monkey, <i>Macaca fuscata</i> Brain Res., 888: 83-101, 2001	2001		T. Chiba, T. Kayahara and K. Nakano
大脳基底核の構造 特集 「Parkinson病をめぐって」 Clinical Neuroscience (in press)			中野勝磨

Superficial and deep thalamo-cortical projections from the oral part of the ventral lateral thalamic nucleus (VLo) receiving inputs to the internal pallidal segment (GPI) and cerebellar dentate nucleus in the macaque monkey In: The Basal Ganglia VI, eds. A. M. Graybiel, M. R. DeLong, Plenum, New York, (in press)			K. Nakano, T. Kayahara, E. Nagaoka, H. Ushiro and T. Tsutsumi
「定位脳手術」神経移植pp205-215	1998	金芳堂	板倉 徹
パーキンソン病の外科的治療 今日の治療指針	1998	医学書院	板倉 徹
「定位脳手術」Parkinson病に対する淡蒼球慢性刺激術p239-247	1998	金芳堂	中井 易二
「定位脳手術」交感神経節移植pp270-274	1998	金芳堂	上松 右二
神経移植と機能の回復「Annual Review 神経1998」後藤 文男 他編pp169-178	1998	中外医学社	中尾 直之、板倉 徹
「定位脳手術」淡蒼球の線維連絡pp91-100	1998	金芳堂	小倉 光博
「定位脳手術」胎児神経移植pp248-256	1998	金芳堂	中尾 直之
Parkinson病の外科治療 -神経移植- Parkinson病の治療 医学のあゆみ186 (1) pp120-124	1998		上松 右二、板倉 徹
神経再生。BIO clinica 13:18-21	1998		中尾 直之、板倉 徹
ヒトParkinson氏病に対する自家星状交感神経節 脳内移植への影響因子に関する研究。平成7年度科学研究費 補助金(基盤研究C) 研究成果報告書	1998		上松 右二
An increase in intracellular levels of cyclic AMP produces trophic effects on striatal neurons developing in culture. Neuroscience 82:1009-1020	1998		N Nakao
Intrastriatal mesencephalic grafts affect neuronal activity in basal ganglia nuclei and their target structures in a rat model of Parkinson's disease. J Neurosci 18:1806-1817	1998		N Nakao, M Ogura, K nakai, T Itakura
Parkinson病に対する高頻度慢性電気刺激術 神経内科 48:520-527	1998	先端医療技術研究所	乾 芳郎、中井 易二、板倉 徹
パーキンソン病の外科的治療 脳神経外科の最先端 pp40-45	1999	日本医学館	中井 易二
神経の移植と免疫「免疫学からみた神経系と神経疾患」pp205-213	1999	最先端医療技術研究所	中尾 直之、板倉 徹
神経疾患に対する細胞移植法「脳神経外科の最先端」pp55-62	1999		中尾 直之、板倉 徹
Parkinson氏病の治療-移植治療- 診断と治療 87 (4) pp681-686	1999		上松 右二、板倉 徹
Parkinson氏病に対する神経細胞移植 医学のあゆみ 189 pp801-806	1999		中尾 直之、板倉 徹
パーキンソン病に対する淡蒼球慢性電気刺激法 臨床脳波 41:141-148	1999		中井 易二、中尾 直之、板倉 徹
Embryonic striatal grafts restore neuronal activity of the globus pallidus in a rodent model of Huntington's disease. Neuroscience 88:469-477	1999		Nakao N, E Nakai, K Nakai, T Itakura

Ablation of the subthalamic nucleus supports the survival of nigral dopaminergic neurons after nigrostriatal lesions induced by the mitochondrial toxin 3-nitropropionic acid. <i>Ann Neurol</i> 45:640-651	1999		N Nakao, E Nakai, T Itakura
パーキンソン病治療のUpdateIII 手術療法 1044-1050	1999		垣下浩二、中尾直之、板倉 徹
Promotion of survival and regeneration of nigral dopamine neurons in a rat model of Parkinson's disease after implantation of embryonal carcinoma-derived neurons genetically engineered to produce glial cell line-derived neurotrophic factor. <i>J Neurosurg</i> 92: 659-670	2000		N Nakao, Y Yokote, K Nakai, T Itakura
Fetal tissue transplants in animal models of Huntington's disease: the effects on damaged neuronal circuitry and behavioral deficits. <i>Prog Neurobiol</i> 61: 313-338	2000		N Nakao, T Itakura
細胞移植によるパーキンソン病への治療. <i>科学</i> 70: 470-474	2000		中尾直之、板倉 徹
Dynorphin exerts both postsynaptic and presynaptic effects in the globus pallidus of the rat. <i>J neurophysiology</i> 83: 3366-3376	2000		M.Ogura and H. Kita.
パーキンソン病に対する淡蒼球慢性刺激術、機能的脳神経外科39:42-43	2000		小倉光博、中尾直之、中井易二、中井罔雄、板倉 徹
定位脳手術 (板倉 徹、片山容一、大本 暁、大江千広 編著) pp 232-238, 1998第4章 II 視床電気刺激術	1998	金芳堂	片山容一、山本隆充
Stereotaxic and Functional Neurosurgery (Tasker, Gildenberg ed.) pp1109-1122, Chronic thalamic stimulation for control of involuntary movements caused by stroke or head injury. 1998	1998	McGraw-Hill	Tsubokawa T, Yamamoto T, Katayama Y
臨床脳波 41: 149-154, 1999 不随意運動症に対する脳深部 (視床、淡蒼球、視床下核) 刺激療法	1999	永井書店	片山容一、山本隆充
<i>J Neurol Neurosurg Psychiatry</i> 67: 769-773, 1999, Changes in cerebral blood oxygenation of the frontal lobe induced by direct electrical stimulation of thalamus and globus pallidus: a near infrared spectroscopy study	1999	BMJ Publishing Group	Sakatani K, Katayama Y, Yamamoto T, Suzuki S:
機能的脳神経外科 38: 22-23, 1999 パーキンソン病における視床下核刺激療法	1999	マイライフ社	片山容一、小林一太、笠井正彦、大島秀規、深谷 親、山本隆充
機能的脳神経外科 39: 48-49, 2000 パーキンソン病の治療における視床下核の位置づけ	2000	マイライフ社	片山容一、小林一太、笠井正彦、大島秀規、深谷 親、山本隆充
<i>Stereotac Funct Neurosurg</i> 74, 2000 Effects of anterodorsal pallidal stimulation on gait freezing (kinesia paradoxa) in parkinson,s disease	2000	KARGER	Katayama Y, Kasai M, Oshima H, Fukaya C, Yamamoto T
<i>Stereotact Funct Neurosurg</i> 74, 2000 Thalamotomy caused by cardioversion in a patient treated with deep brain stimulation	2000	KARGER	Yamamoto T, Katayama Y, Fukaya C, Kurihara J, Oshim H, Kasai M.

<p>神経研究の進歩、44巻：629-637、 Evidence Based Medicine に基づく治療 ：定位脳手術・脳深部刺激療法、</p>	2000	医学書院	片山容一、大島秀規、 山本隆充、水谷智彦
<p>Parkinsonism & Related Disorders 7: 35-40, 2001 double blinded evaluation of the effects of pallidal and subthalamic nucleus stimulation on daytime activity in advanced Parkinson,s disease</p>	2001	KARGER	Katayama Y, Kasai M, Oshima H, Fukaya C, Yamamoto T, Mizutani T:

[VII] 平成12年度 研究者名簿

「パーキンソン病の定脳手術の適応と手技の確立に関する多施設共同研究」
研究班

平成 12 年度研究者名簿

区 分	氏 名	所 属	職 名
主任研究者	湯浅 龍彦	国立精神・神経センター国府台病院神経内科	部 長
分担研究者(1)	渥美 哲至	聖隷浜松病院神経内科	副院長
	阿部 康二	岡山大学医学部分子神経遺伝学神経内科学	教 授
	安藤 肇史	国立療養所宮城病院脳神経外科	医 長
	石川 厚	国立療養所新潟病院神経内科	副院長
	板倉 徹	和歌山県立医科大学脳神経外科	教 授
	井上 雄吉	富山県高志リハビリテーション病院	内科部長
	大槻 泰介	国立精神・神経センター武蔵病院脳神経外科	部 長
	大本 堯史	岡山大学医学部脳神経外科	教 授
	加藤 丈夫	山形大学医学部第三内科	教 授
	片山 容一	日本大学医学部脳神経外科学	教 授
	亀山 茂樹	国立療養所西新潟中央病院脳神経外科	臨床研究部長
	川井 充	国立精神・神経センター武蔵病院第二病棟部	部 長
	楠 正	日本薬剤疫学会	理事長
	葛原 茂樹	三重大学医学部神経内科	教 授
	久野 貞子	国立療養所宇多野病院臨床研究部 神経変性疾患・神経薬理学・臨床神経学	臨床研究部長
	近藤 智善	和歌山県立医科大学応用医学研究所神経病 研究部	教 授
	澤村 豊	北海道大学医学部脳神経外科	講 師
	島 史雄	貝塚病院	常任顧問
	高橋 宏	都立神経病院脳神経外科	部 長
	武内 重二	京都きづ川病院脳神経外科	理 事
田代 邦雄	北海道大学大学院学部医学研究科 脳科学専攻神経病態学講座神経内科学分野	教 授	
飛松 省三	九州大学大学院医学系研究科脳研臨床神経生理	教 授	
中野 勝麿	鈴鹿医療科学大学保健衛生部放射線技術学科	教 授	
中野 今治	自治医科大学神経内科	教 授	
南部 篤	東京都医学研究機構、東京都神経科学総合研究 所、病態神経生理学研究部門	副参事研究員	

分担研究者(2)	橋本 隆男	信州大学医学部第三内科神経内科・神経生理	講 師
	長谷川 一子	国立相模原病院神経内科	医 員
	波多野 和夫	国立精神・神経センター精神保健研究所	老人精神保健 部長
	久永 欣哉	国立療養所宮城病院神経内科	部 長
	松田 博史	国立精神・神経センター武蔵病院放射線診療部	部 長
	丸山 哲弘	リハビリテーションセンター鹿教湯病院神経内科	医 長
	水谷 智彦	日本大学医学部神経内科	教 授
	横地 房子	都立神経病院神経内科	医 員
	横山 徹夫	浜松医科大学手術部脳神経外科	助教授
(事務局) 経理事務連絡 担当責任者	西宮 仁	国立精神・神経センター国府台病院神経内科 〒272-0827 千葉県市川市国府台 1-7-1 TEL&FAX: (047)375-6310	医 長

[VIII] その他

厚生省厚生科学研究特定疾患対策研究事業
「パーキンソン病定位脳手術」研究班

平成12年度
夏季ワークショップ
プログラム

平成12年8月17日~18日
山崎厚生年金基金会館
(JR 総武線市川駅下車北口2分)

平成12年8月17日(木)

第1部 手術適応基準作成小委員会(14:00~17:15)

第2部 ビデオによる症例検討会(19:00~21:00)

平成12年8月18日(金)

第3部 夏季ワークショップ(8:50~12:40)

「視床下核を巡る問題点」

「パーキンソン病に対する神経移植・再生療法」

第4部 一般公開講座(14:00~17:30)

「パーキンソン病治療の新しい流れ」

班 長 湯 浅 龍 彦

国立精神・神経センター国府台病院神経内科

千葉県市川市国府台1-7-1

電話 & FAX 047-375-6310

プログラム

平成12年8月17日(木)

14:00~14:20 開会挨拶/手術登録状況 「陽光の間」

第1部 手術適応と登録に関する小委員会 (14:00~17:15)

14:30~15:30 手術適応基準作成小委員会

(各グループ毎に分室)

- A) 視床手術グループ (5F-A)
- B) 淡蒼球手術グループ (5F-B)
- C) 視床下核手術グループ (6F-1-C)
- D) 標準化画像を用いた破壊巣の確認 (6F-1-D)
- E) 臨床病態基礎研究グループ (陽光の間)
- F) プロトコールのまとめ : (陽光の間)

15:45~17:10 小委員会報告会 (全体会議)

各グループ報告 (15分)

- A) 視床手術: 亀山茂樹/中野今治
- B) 淡蒼球手術: 大本堯史/久野貞子
- C) 視床下核手術: 片山容一/飛松省三
- D) 標準化画像: 松田博史/大槻泰介
- E) 臨床病態基礎研究 (含予後調査計画): 葛原茂樹
- F) プロトコールのまとめ: 藤本健一/湯浅龍彦/楠 正

17:10~17:30 休憩

第2部 ビデオによる症例検討会

19:00~21:00

手術基準作成グループ一覧表

- A) 視床手術基準: ○亀山、○横地、中野(今)高橋、石川、長谷川、橋本
 - B) 淡蒼球手術基準: ○大本、○久野、板倉、武内、田代/沢村、阿部、安藤/久永
 - C) 視床下核手術基準: ○片山、○飛松、島、渥美/横山、水谷、(大槻)
 - D) 標準化画像による評価: ○松田、○大槻、加藤、(大本)
 - E) 臨床病態基礎研究: ○葛原、南部、中野(勝)、井上、波多野、丸山
 - F) プロトコールの纏め: ○中野(藤本)、湯浅、楠、川井、近藤
(○委員長)
-

ビジネスアナウンスメント

- ・幹事会 (12:00~14:00 マルシェ)
- ・班員連絡会議 (17:30~18:45 市川クラブ)

第2回 ビデオによるパーキンソン病関連症例検討会 Video Case Conference

プログラム

平成12年8月17日(木)

19:00~21:00

山崎厚生年金基金会館(陽光の間)

19:00~19:40 (司会:阿部康二)

1) 「Alien hand sign や closing-in 現象を呈した corticobasal degeneration が疑われる1例」(15分)

○井上雄吉、藤木勇治2)

富山県高志リハビリテーション病院内科、2) リハビリテーション科

2) 「数週間持続する off 状態を繰り返すパーキンソン病の1例」(15分)

○西宮仁、黒川克郎、山田滋雄、湯浅龍彦

国立精神・神経センター国府台病院 神経内科

3) 「慢性硬膜下血腫の手術治療後に著明な改善を示したパーキンソン病の一例」(10分)

○山田滋雄、亀井啓史、黒川克郎、西宮仁、湯浅龍彦、大原宏夫1)

国立精神・神経センター国府台病院 神経内科、1) 同脳外科

19:40~20:20 (司会:長谷川一子)

4) 「著明な DID と motor fluctuation を認めた若年性パーキンソニズムの1例」(20分)

○富川 勝、亀山茂樹、師田信人、大石 誠、石川 厚1)

国立療養所西新潟中央病院 脳神経外科、1) 国立療養所西小千谷病院 神経内科

5) 「淡蒼球内節破壊術と視床下核脳深部刺激療法の適応・効果の比較」(20分)

その1: DID が軽い症例の motor fluctuation に対する palidotomy の効果

その2: DID が目立った症例に対する視床下核脳深部刺激療法の効果

○沖山亮一、横地房子、谷口 真1)、高橋 宏1)、長谷川有美2)、浜田生馬2)

1) 東京都立神経病院 神経内科、脳神経外科*

2) 東京都神経科学総合研究所 生理学部門**

20:20~21:00 (司会:亀山茂樹)

6) 「パーキンソン病に対する脳深部刺激(アイトレル システム)の手術法」(20分)

○鳥 史雄、石堂 克哉1)

九州大学 脳研臨床神経生理、1) 貝塚病院 脳神経外科

7) 「Subthalamus (zona incerta) の深部脳刺激による近位筋優位の粗大な振戦の治療効果について」(20分)

○北川まゆみ、村田純一、菊地誠志、田代邦雄1)、澤村 豊2)

札幌麻生脳神経外科病院、1) 北海道大学 神経内科、2) 同脳神経外科